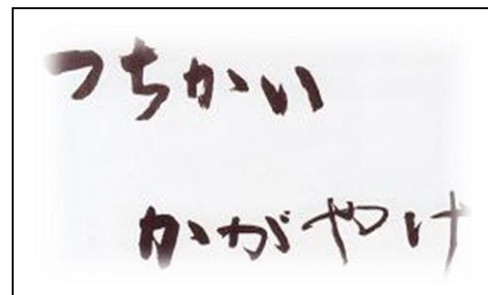


継続することで 成長を実感する



愛知県立新川高等学校長 小川 裕之

2018年4月に、校長として異動してきました。新川高等学校での出会いを大切にし、精一杯取り組む所存です。

さて、新川高校に来て、生徒諸君の前で3回、話をする機会がありました。そのことについて、もう一度確認しようと思います。



一回目、4月5日の着任式では、「縁」ということと、「ポジティブに」という話をしました。

「縁」…私は、縁あって新川高校の校長として赴任して、縁あって君たちと出会うことができ、縁あってここ新川の地で一緒に生活することになりました。こんな「出会い・縁」を大切にしていきたい。

「ポジティブに」…私の言うポジティブは、2つの意味があります。1つは、積極的にと言うこと。もう1つは、前向きにと言うこと。何事にも、消極的より積極的の方がいい。後ろ向きより、前向きの方が絶対いい。まさに今、大きく成長している君たちには、どんなことにも積極的、前向きに取り組み、多くことを吸収して欲しいし、そんな姿勢で臨む若者であって欲しい。

二回目は、4月6日の入学式、新入生に対して、「明確な目標を持つこと」「思いやりの心を持つこと」「感謝の心を持つこと」という三つの言葉を送りました。

「明確な目標を持つこと」…自分が何をやりたいのか、将来どのような方向に行きたいのか、そしてそのためにどのような高校生活を送るのか、自分の目指すべき道を、きちんと見つけて欲しい。

「思いやりの心を持つこと」…他人を思いやることは、自分を見つめ直すこと。集団の一員としての自分を見つめ、自分の存在や良さに気づくこと、他人と接し、友人として思いやりを持って

心を通わすこと、このようなお互いを成長させる関係を構築して欲しい。

「感謝の心を持つこと」…保護者や家族の方、先生方、友達や先輩、地域の方々など、多くの人たちの支えがあることを認識し、自分を取り巻く環境や、周りの人たちへの感謝の気持ちを持ち続けて欲しい。

そして、三回目、4月9日の始業式には、本年度の新川高校の目標、「継続することで、成長を実感する」を紹介し、平成30年度は、この目標の達成を目指して一緒に頑張っていこう、と呼びかけました。

「継続することで、成長を実感する」…苦しいこと、嫌なことを毎日続けることは、本当に難しい。ただ、それを生活のリズムにするよう努めて欲しい。後から振り返って、継続したことで得た力の大きさを実感して欲しい。

我々教職員の役割は、生徒諸君が、継続できる、頑張ることのできるフィールドを準備することだと思っています。君たちの「がんばりの継続」を精一杯サポートします。充実した1年になるよう、共に頑張りましょう。

